

全建発 19 ～ 261 号
平成 19 年 12 月 10 日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第 536 回建設技術講習会（施工の管理・検査と工事の安全）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約 8 万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術関係職員の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、私ども公共事業に携わる建設技術者は、安全・安心基盤の確立に向け、自然災害対策、交通安全の確保、少子高齢化への対応等をはじめ、地域再生・都市再生の推進、環境対策、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、官公庁職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められております。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第 536 回建設技術講習会では、公共工事における発注者として、施工管理及び工事検査の技術（チェックポイント）等について習得する。また、公共工事入札・契約適正化法及び品質確保法に基づく施行状況等の確認、監督・検査の実務等、ヒューマンエラー建設事故防止に向け、計画・設計・施工・工事管理（検査を含む）等における安全確保に係わる情報などについて学ぶことを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬具

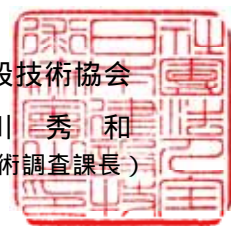
全建発第18～304号
平成19年1月19日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 前 川 秀 和

(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成19年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、今日、私ども公共事業に携わる建設技術者は、安全・安心基盤の確立に向け、自然災害対策、交通安全の確保、少子高齢化への対応等をはじめ、地域再生・都市再生の推進、環境対策、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められており、このため職員研修の役割は従来にも増して重要と考えております。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成19年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。 敬具

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第536回建設技術講習会（施工の管理・検査と工事の安全）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成20年2月20日（水）～22日（金）宮崎市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、公共工事における発注者として、施工管理及び工事検査の技術（チェックポイント）等について習得する。また、公共工事入札・契約適正化法及び品質確保法に基づく施行状況等の確認、監督・検査の実務等、ヒューマンエラー建設事故防止に向け、計画・設計・施工・工事管理（検査を含む）等における安全確保に係わる情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は、宮崎県（予定）・宮崎市（予定）の共催、国土交通省の後援のもと実施いたします。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員..... 8,200 円〔昼食の斡旋なし〕
正会員（地元〔宮崎県内〕）..... 1,400 円〔 " 〕
非会員..... 13,200 円〔 " 〕
「正会員（地元）」とは、開催地（宮崎県）内に勤務の「正会員」のみ
聴講のみの参加は可能です

現 場 研 修 料：..... 7,100 円〔うち昼食代1,200 円〕
現場研修のみの参加はできません

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-13 昭栄赤坂ビル 7F
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、お振込人名義の初めに、開催回数の「536」をつけ加えて下さい。

申 込 締 切 日：平成20年2月1日（金）必着（締切日以降の到着は受理できない場合があります。）

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

平成20年2月8日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成20年2月15日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金できません

聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」の認定講習会として単位が取得できます。（会場で継続学習制度（CPDS）についての案内を配布します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

主催：(社)全日本建設技術協会、宮崎県(予定)、宮崎市(予定) 後援：国土交通省

第 536 回建設技術講習会 日程

(施工の管理・検査と工事の安全 ～施工管理及び検査技術の習得と安全確保に係わる情報～)

一公共工事における発注者として、施工管理及び工事検査の技術(チェックポイント)等について習得する。また、公共工事
入札・契約適正化法及び品質確保法に基づく施行状況等の確認、監督・検査の実務等、ヒューマンエラー建設事故防止に
向け、計画・設計・施工・工事管理(検査を含む)等における安全確保に係わる情報を得る。

会場.....宮崎県立芸術劇場 演劇ホール
〒880-8557 宮崎市船塚 3-210 TEL0985-28-3210

1 日目 平成 2 0 年 2 月 2 0 日(水)			(敬称略)
10:00 10:20	あいさつ "	宮崎県知事 宮崎市長	東国原 英 夫 津 村 重 光
10:20 11:50	公共工事と会計検査 ～設計、積算、施工の主な留意点～	元会計検査院事務総長官房 資料情報管理室長	中 野 公 雄
13:10 14:25	公共工事の執行に係わる最近の動向	国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室長	野 田 徹
14:35 15:35	【特別講演】 「陸の孤島」の都市づくり	元宮崎県総務部県史編さん室長	永 井 哲 雄
15:45 16:05	【地域事業の紹介】 みやざき臨海公園について	宮崎県中部港湾事務所 工務課長	与 儀 新 二
16:05 16:25	【地域事業の紹介】 堀川運河港湾環境整備事業について	宮崎県油津港湾事務所 工務課長	永 井 義 治
16:25 16:45	【地域事業の紹介】 広渡川郷之原床止工の復旧について	宮崎県日南土木事務所 工務課長	上 山 孝 英
2 日目 2 月 2 1 日(木)			敬称略
9:40 10:20	港湾工事の施工管理と工事の安全	国土交通省港湾局技術企画課 課長補佐	富 田 幸 晴
10:30 11:50	公共土木工事検査の技術と実際	国土交通省九州地方整備局企画部 工事品質調整官	平 川 澄 雄
13:10 14:10	官庁営繕工事における品質管理	国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 営繕技術基準対策官	吉 野 裕 宏
14:20 15:20	ヒューマンエラーの原因と対策	常磐大学人間科学部 専任講師	しん 申 ほん 紅 そん 仙
15:30 16:30	建設工事の安全対策	国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐	森 田 宏
16:30 	閉会のあいさつ	宮崎県建設技術協会長	山 田 康 夫
地域の独自調査			
【現場研修】 3 日目 2 月 2 2 日(金)			

J R 宮崎駅東口(8:30) 出発

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| → みやざき臨海公園(下車説明) | → 堀川運河港湾環境整備事業(下車説明) |
| → 昼食(日南市内) | → 広渡川災害関連復旧事業(下車説明) |
| → 宮崎空港(15:40) 着後解散 | → J R 宮崎駅東口(16:30) 着後解散 |

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

C P D S 学習プログラム認定技術講習会

第536回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 みやざき臨海公園整備事業 宮崎市新別府町

宮崎県では、海洋性レクリエーション需要の増大に伴い、「宮崎・日南海岸リゾート構想」の一環として、「宮崎臨海公園」を整備してきました。

「サンマリーナ宮崎」は、ヨットやモーターボートを収容する施設で、競技用のディンギーヨットを含め、最終的には水面と陸上で合わせて400隻を係留・保管することができます。

その他、釣りなども楽しめる魚釣り護岸や、色々なイベントを開催できる多目的広場、眼下に日向灘を眺望しながら散策できる緑地も整備され、広く県民が憩える水辺空間となっています。



2 堀川運河港湾環境整備事業 日南市油津

堀川運河は、今から320年程前（1686年）に広渡川から油津港へ飢肥杉を運ぶためにつくられました。

その後、油津のまちとともに変化を繰り返しながらその姿を今に残し、「石積み」などを現代に伝えています。

平成19年8月26日、その堀川運河に屋根付きの木橋「夢見橋」が完成しました。

橋は全長46m、幅3.6mの人道橋で、桁材には樹齢120年生の飢肥杉30本を、カウンターウエイトに飢肥石を使用しています。

特徴としては、金具は一切使わない伝統工法により木組みで造られ、橋の中央部分には腰掛けを、屋根には明かり窓を取り付けています。橋の両岸は、平成20年3月までに、緑地公園として整備する予定です。



3 広渡川災害関連復旧事業 宮崎県北郷町

平成15年5月13日～14日にかけての豪雨による出水で、水叩き部の流失や基礎部の空洞化等の被害を受けたものであるが、その復旧に際しては全国防災協会の工法検討委員会や学識経験者の意見を踏まえ、床止めの平面形状に曲線的なイメージを取り込み、現地採取の石張りを採用するなど、周辺の景観と環境に配慮した緩傾斜床止工である。

なお、本事業は、平成18年度全建賞を受賞した。



第 536 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿 泊 料 金：宿泊希望者には宮崎市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

宿 泊 予 約 金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。

送 金 先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金口座№1015114

お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「536」を付け加えて下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 FAX 03-3272-3169

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル 6 階）

「全建担当デスク」迄

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 20 年 2 月 8 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 20 年 2 月 15 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成 20 年 2 月 19 日（火）、20 日（水）、21 日（木）

（1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	ホテルメリージュ	宮崎市橘通東3-1-11 TEL:0985-26-6666 会場へは路線バスで約15分、朝夕 5～20分間隔 駅から徒歩約10分	シングル	30 名	9,500 円
B	ホテルマリックス	宮崎市千草町15-8 TEL:0985-28-6161 大浴場及びサウナが利用可能（無料） 会場へは路線バスで約10分、朝夕 5～25分間隔 駅から橋通りまでバス約 5 分、下車徒歩約 7 分		70 名	7,200 円
宿泊斡旋人数合計				100 名	

宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第 5 3 6 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意ください。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A ～ F を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行㈱宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 「全建担当デスク」

【往路】2月19日（火）講習会前日の便

記号	搭乗区間	便名	幹旋席数	片道航空代金
A	羽田 → 宮崎 14:00 15:45	ANA609 (全日空)	30 席	15,000 円
B	伊丹 → 宮崎 15:25 16:40	JAC2439 (日本エアコミューター)	15 席	15,500 円

【往路】2月20日（水）講習会当日の便 空港から会場まではタクシーで約30分

記号	搭乗区間	便名	幹旋席数	片道航空代金
C	羽田 → 宮崎 7:20 9:05	ANA601 (全日空)	15 席	17,000 円

【復路】2月21日（木）聴講終了後の便

記号	搭乗区間	便名	幹旋席数	片道航空代金
D	宮崎 → 羽田 19:45 21:15	SNA064 (スカイネットアジア航空)	10 席	16,500 円

【復路】2月22日（金）現場研修終了後の便

記号	搭乗区間	便名	幹旋席数	片道航空代金
E	宮崎 → 羽田 16:25 17:55	ANA610 (全日空)	40 席	16,500 円
F	宮崎 → 伊丹 17:10 18:20	JAC2440 (日本エアコミューター)	15 席	16,000 円

- ・上記代金には、旅客施設使用料（羽田1区間100円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約40分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、50分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機の時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道1席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭乗区間	2/4～2/7 に取消した場合	2/8～2/14 に取消した場合	2/15以降便出発 迄に取消した場合
A C D E	羽田 ↔ 宮崎	3,000 円	6,000 円	9,000 円
B F	伊丹 ↔ 宮崎	2,000 円	4,000 円	6,000 円

- ・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____ 印
(特別・賛助会員名)

第536回建設技術講習会（施工の管理・検査と工事の安全）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

[illegible]

↓ 全建に振込

↓ 西鉄旅行(株)に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕

お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、

「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03-3586-6640迄

〔聴講時の昼食について〕

昼食の幹旋はありません。

〔現場研修時の昼食について〕

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。